

くらしのニュース 5月号

2018年(平成30年)

NO.443

発行/苫小牧市市民生活部安全安心生活課 TEL0144-32-6306(直通)

平成30年4月25日発行

安全安心生活課消費生活情報ホームページ <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/shohiseikatsu/seikatsubusshi/>

懸賞で当たった日帰りバス旅行で高額な商品を買うはめに

- スーパーマーケットや通信販売会社などの懸賞で当選し、無料または格安のバス旅行に参加したところ、途中で立ち寄った施設で高額な宝石や毛皮製品等を勧められたという相談が寄せられています。
- その場の雰囲気にもまれたり、旅という非日常の中で気分が高揚したりしてつい購入してしまうケースが見られます。冷静になり、本当に必要なものをよく考えましょう。必要なければきっぱりと断ることが大切です。
- 要件を満たせばクーリング・オフ等が出来る場合もあります。困ったときは、お早めに消費者センター (TEL 33-6510) にご相談ください。

《消費者被害防止ネットワーク情報》 参考：国民生活センター ホームページ

5月は「消費者月間」

全国統一テーマ 「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない～」

市では、『消費者月間』啓発事業として、消費者団体と婦人団体の皆様とともに、苫小牧駅自由通路と市内の大型店前（パセオ川沿店、イオン、フードD365沼ノ端店）で、消費者被害防止などを呼びかけます。

日時 平成30年5月9日(水) 午後2時30分～



平成30年度消費経済調査員が委嘱されました

平成30年度の新しい消費経済調査員の委嘱式が、4月5日に市民活動センターで行われました。

食料品などの物価動向に関心がある調査員に岩倉市長から委嘱状が交付されました。

調査員の主な業務は、毎月10日に消費生活条例に基づき、生活必需品（食料品、日用品、燃料など）の価格を市内の大型店、ガソリンスタンド、燃料店で調査します。また、家庭で購入した商品の量目調査を年3回行います。

調査した結果は、くらしのニュース、市ホームページ、報道機関などを通じて市民の皆様公表しています。



消費生活相談状況 <苫小牧市消費者センター>

平成30年3月 162件 (前月 136件 / 前年同月 140件)

相談分類25項目中 上位3分類	相談件数				当月の主な内容
	当月	累計	前年同月	前年累計	
商品一般	73	398	4	46	消費料金59 総合消費料金14
運輸・通信サービス	21	367	48	378	デジタルコンテンツ7 光回線4 公共放送受信料3 ほか7件
教養娯楽品	8	66	7	88	スマートフォン2 パソコン1 DVD1 携帯電話1 カードゲーム1 ほか2件